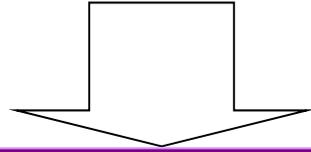


## 【女性のエンパワーメント】

女性が個人としても、社会集団としても意思決定過程に参画し、自律的な力をつけて発揮すること。



女性が、可能性を十分に発揮し、能力を高め、その努力をきちんと評価され、企業や経済活動の場で活躍できるために！

そのための企業のあり方を示します

# 女性のエンパワーメント原則 (WEPs)

*Equality Means Business*  
— 平等推進はビジネスそのものです

## WEPs

は、女性のエンパワーメントに自主的に取り組む企業の行動原則です。

WEPs に経営者自らが署名することにより、企業は、女性が社会的にその力を発揮できるような労働環境・社会環境を整備することへの強い意思を、国内外に示すことができます。

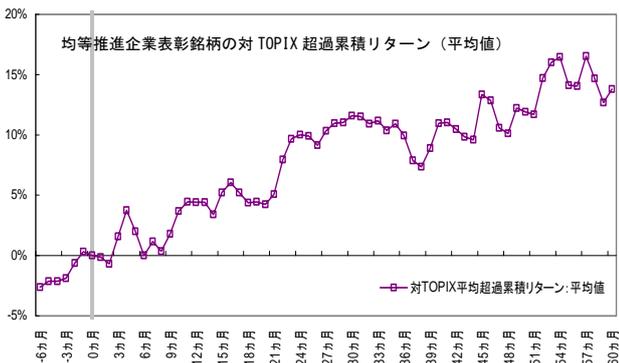
WEPs は国連グローバル・コンパクト事務所と UN Women が 2010 年に作成しました。

PHOTO

## WEPs

は、女性の力を企業活動に取り込む、新しい企業の姿を示します。

日本でも、女性の活躍推進に取り組んでいる企業(均等推進企業表彰企業)は、株式パフォーマンスがTOPIX平均を上回る水準で安定して上昇する傾向。表彰月月末から1年後には4.44%、5年後には13.80%の平均リターン



(注) 厚生労働省 (「均等・両立推進企業表彰 (うち、均等推進企業部門及び均等・両立推進企業表彰、平成 18 年度までは均等推進企業表彰。)」の受賞企業 (表彰月の月末に上場していた 152 企業) 及び東証データをもとに作成。(出所) 大和証券キャピタル・マーケット (株) 金融証券研究所「クオンツ情報」2012 年 2 月 13 日)

女性の活躍は、企業にとって公正なことであるだけでなく、ビジネス発展に利点があることを理解し、経営全般の核に位置付けて取り組むのが、WEPs 署名企業の姿勢です。

新しい枠組みの「WEPs」によって、女性のエンパワーメントに自社で新たに取り組む、あるいは、それまでの取組をより発展させる企業の活動が、広がり始めているのです。

女性の力によって、企業の活力と成長の促進をめざす— WEPs の詳しい 7 つの原則に関心があり、ビジネスを発展させたい企業は、次のページへ →

# 女性のエンパワーメントは、ビジネスに利点がある

## WEPsの7原則

## 好事例～世界の企業では～

### ① トップのリーダーシップによるジェンダー平等の促進

- トップの関与
- 全社的な目標設定
- 管理職の人事考課の要素 等



- 女性のエンパワーメントに引き続き取り組むことを社内で再確認するために、WEPsに署名した。  
(日本の企業)
- 高度な技能をもつ女性の専門職の採用や雇用継続の取組をしなかったために、企業業績を落としていることが分かったので、管理職や役員会の参加を得て、女性の活躍を促進するよう、社風と企業方針の転換を図っている。  
(多国籍企業)

### ② 機会の均等、インクルージョン、差別の撤廃

- 平等な報酬
- 管理職・役員への女性の登用促進 (30%以上)
- 子どもや家族のケアへの支援 等

- 多様性の確保と女性の参画を促進するため、管理職と女性従業員で構成される特別な委員会を設置した。委員会で出された女性従業員の要望に基づいて、研修やプログラムを実施している。  
(製鉄会社・多国籍企業)

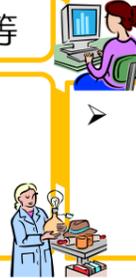
### ③ 健康、安全、暴力の撤廃

- 健康に関する男女で異なる影響への考慮
- 職場からのあらゆる暴力の撤廃
- 人身取引・性的搾取に関する理解促進 等

- DVにより職場を辞めざるを得なかった女性が、職場復帰や再就職がしやすいように、職業紹介を行っている。  
(スペインの企業)

### ④ 教育と研修

- 女性の職域拡大
- 教育・研修プログラムの利用しやすさ
- 好事例の発信 等



- 伝統的に女性が就く仕事と男性が就く仕事を区別してきたが、そのカベを取り除くために研修を実施した。その後、男女ともに働きやすい企業として、若者にアピールしている。  
(ヨーロッパの航空会社)

### ⑤ 事業開発、サプライチェーン、マーケティング活動

- 女性の経営者や起業家との取引の発展
- 取引先や同業者の関与 等



- ビジネスの発展に果たす女性の起業家の役割が拡大していることに着目し、女性の起業家向けの小額融資、商業ローンなどの金融サービスを開始した。小・中規模のビジネスを運営する女性起業家のために、オンラインのセンターを開設した。  
(イギリスの銀行)
- 「サプライチェーン・ダイバーシティ・プログラム」を策定し、特に中小企業のサプライヤーと女性経営者とを結びつけた。サプライヤー、女性経営者が成長することで、購買層が拡大し、さらなるビジネス発展をめざしている。  
(アメリカの電子機器会社)

### ⑥ 地域におけるリーダーシップと参画

- 地域の模範となる企業が地域を主導
- ステークホルダーや当局、その他の機関との協働促進
- 助成金や社会貢献活動による支援 等

- 伝統的に女性が少ない採掘現場で、女性従業員を責任者に配属した。女性従業員が地域コミュニティや住民と接する機会を多く持つよう促して、働く女性のロールモデルを地域に示す「女性主流化プログラム」を実施している。  
(ガーナに現地法人がある鉱業会社)

### ⑦ 透明性、成果の測定、報告

- 企業の方針及び実行計画の作成
- 報告書の公表
- 男女別データに基づく報告 等



- WEPsの7原則に基づき、企業の「ジェンダー平等報告書」を作成した。  
(オーストラリアの銀行)



WEPsは、職場だけでなく、市場、地域とともに取り組むことが特徴

## 署名の手続き

- WEPsを支持するCEOは、署名用紙に署名して、国連グローバル・コンパクト (UNGC) 事務所かUN Women本部に送付。  
(送り先・問合せ先) [womens-empowerment-principles@unglobalcompact.org](mailto:womens-empowerment-principles@unglobalcompact.org)
- UNGCの参加の有無は問わない。ただし、従業員10人以上の企業が対象。
- 手続きが終了したら、UNGC事務所のウェブサイトの「署名企業リスト」に掲載。
- CEOは自らリーダーシップを発揮して、WEPsをツールに、女性のエンパワーメントに取り組むことが期待される。

☆ WEPsウェブサイト  
<http://www.wepprinciples.org/>

企業やビジネスで、女性のエンパワーメントを進めたい

まず社内から

ステークホルダーや地域と

次のステップへ

WEPsに署名をして、一緒に取り組みましょう

## WEPs

は、地域に根差した女性の活躍を応援します。

地域とともに歩み、生活者視点を大事にした商品開発等を行う、これからのビジネス展開には、女性の中核を担うことが欠かせません。

地域を大切にせる企業として、企業活動やマーケティング戦略に、取引先や調達先（サプライチェーン）、投資家、地域社会、NGO、政府等と一緒にこれに取り組み、ビジネスを発展させることをねらいとしています。

他方、地域を拠点として活動する団体や NGO、大学、労働組合も WEPs を使えば、企業と一緒に取り組みやすくなるでしょう。

PHOTO

## WEPs

は、国際的視点から、CSR 経営品質の向上に貢献します。

企業の CSR 活動でも、ジェンダー平等の推進を重視しています。

- ISO26000：組織の社会的責任の重要な要素として、「組織のマネジメントでの男女の参画、雇用と報酬の平等、活動の平等、コミュニティ開発での配慮」および「ステークホルダー参加におけるジェンダー平等の重要性」が指摘されています（2010年11月）。
- 経済同友会：経営トップに対し WEPs 署名の検討を要請（『意思決定ボード』のダイバーシティに向けた経営者の行動宣言～競争力としての女性管理職・役員の登用・活用～）（2012年5月）

### 国際的な動き ～企業における女性のエンパワーメントは急速に進展しています～

企業における女性の活躍促進に向け、各国は積極的に働きかけを行っています。

国連や APEC でも、企業の役割への期待が広がっています。

- 証券取引所の自主規定  
有価証券報告書に当該企業のダイバーシティ推進計画と進捗状況を盛り込むよう、証券取引所規定を改訂（オーストラリア、2010年）
- 公共調達  
女性が経営する小規模ビジネスに、連邦契約の5%を優先的に発注する「女性優先調達プログラム」を導入（米国、2011年）
- 取締役の女性比率を割り当てて、任命・法律に基づくクォータ制

	施行年	目標年	目標値
アイスランド	2010	2013	40%
スペイン	2007	2015	
ノルウェー	2005	2008	
フランス	2011	2017	

※その他、イタリア（33%）、ベルギー（33%）、オランダ（30%）、マレーシア（30%）等

- 2010年9月 APEC 女性リーダーズネットワークによる「APEC 首脳及び閣僚への提言」で、地域経済・社会・市場の域内統合を推進し持続可能な成長を促す指針として、WEPs を支持。
- 2011年6月 「UN Women 戦略計画 2011-2013」にて、優先課題領域の一つに女性の経済的エンパワーメント及び機会の増進を設定。「2015年までに500社」の WEPs 署名を目標とする。
- 2011年12月 国連総会第2委員会決議「グローバル・パートナーシップに向けて」において、国連と企業とのグローバル・パートナーシップ促進に当たり、ジェンダーの視点を取り入れる際に WEPs をツールとするよう推奨。

さあ、WEPs への署名で、グローバル経営品質への扉を開きましょう！！

☆詳しくは WEPs ウェブサイト <http://www.wepprinciples.org>

発行・編集 内閣府男女共同参画局、男女共同参画推進連携会議  
「国際的に連携した女性のエンパワーメント促進」チーム  
〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1  
電話 03(3581)2549 ホームページ <http://www.gender.go.jp/>